

## 平成18年第5回（12月）定例会 一般質問通告表（未定稿）

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>1 佐渡航路問題について</p> <p>(1) 佐渡航路確保についての考え方と対応</p> <p>(2) 島民の生活の足としての利便性の確保について</p> <p>2 トキ野生復帰について</p> <p>(1) トキの放鳥計画の概要について</p> <p>(2) その環境整備の進捗状況は</p> <p>(3) 放鳥と観光の連携について</p> <p>3 専門学校誘致について</p> <p>(1) 進捗状況について</p> <p>(2) 用地問題について</p> <p>4 児童・生徒の安心できる環境づくりについて</p> <p>(1) 市立小中学校のいじめの実態把握について</p> <p>(2) いじめに対する対応について</p>	稲辺 茂樹
2	<p>◎ 市長の政治姿勢について</p> <p>○ 16年に鳴り物入りで発足した高野市政の政策マニフェストは、ことごとくに崩壊したと言っても過言でなく、今や薔薇色の島づくりは遠い<sup>うたかた</sup>泡沫の夢化した。今や第二の夕張市になりかねない実に厳しい財政状況に直面している。このような情勢下において、せめて市民の生命・身体・財産を武力攻撃等が起きたとき、離島という悪条件の中から安心・安全の脱出が可能なのか、その保証が心配である。国は、平成16年9月施行の「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律（国民保護法）」に基づき、武力攻撃事態等において市民等の生命・身体・財産の保護のための措置を、的確かつ迅速に実施するため市が行う国民保護措置（住民の非難、避難住民の救援、武力攻撃災害への対応等）について定めた佐渡市の国民保護計画の位置づけを尋ねる。</p>	大澤祐治郎
3	<p>1 機構改革後の市行政の運営と問題点について</p> <p>(1) 当初の計画どおりの行政運営がなされているか</p> <p>① 市長・助役・部長の連携は保たれているか</p> <p>② 支所との連携は保たれているか</p> <p>(2) 改革後の9か月間で、組織機構改革が原因で起こったトラブルはないか。職員からの不満はないか</p> <p>2 市財政の今後の行方について</p> <p>(1) 来年度予算の編成状況、重点施策について</p> <p>(2) 夕張市のような財政再建団体にならないよう財政規律が必要と考えるが、具体的なものはあるか</p> <p>3 国民健康保険財政と疾病予防について</p> <p>(1) 財政調整交付金のうちの「基準交付金」と「支援交付金」について</p> <p>(2) 健康づくりのため、どのような事業や対策を講じているか</p> <p>4 中高一貫教育学校について</p>	金田 淳一

順	質 問 事 項	質 問 者
3	<p>(1) 文部科学省が提案している、想定される7つの教育の類型の中のどれを取り上げ、どのような特色の学校を目指すのか</p> <p>(2) 中高一貫校は、「中等教育学校」「併設型」「連携型」の3種類を想定されているが、今回、両津地区に「中等教育学校」を選択した理由は何か。問題点はないか</p>	金田 淳一
4	<p>1 農政対策について</p> <p>○ 集落営農組織化、農地・水・環境保全向上対策、環境にやさしい米づくりは、一体として進める政策課題。推進状況と推進体制は</p> <p>2 海洋深層水非水産部門の利活用策について</p> <p>○ 健康分野、農業分野への利活用による島民への還元施策の検討</p> <p>3 公立病院の役割と経営健全化について</p> <p>(1) 救急指定、巡回診療、医療事務民間委託の経営への影響</p> <p>(2) 病床利用率及び医師確保対策</p> <p>4 放課後子どもプランへの対応について</p> <p>(1) 「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の現況と連携への方策</p> <p>(2) 全小学校区を対象とする事業への推進体制及び住民参加の方策</p> <p>(3) 学校・保護者・地域の共通認識、共同行動への取組み（いじめ、防犯等）</p> <p>5 市民目線から見た行政サービスについて</p> <p>○ 税務相談、投票所統廃合、支所機能、イベント支援等</p>	小田 純一
5	<p>1 農林水産省推進の「攻めの農政」で見えてきた「水田を油田に変えよう」との構想と佐渡市の検討課題について（農業公社を含む）</p> <p>2 「両尾、羽二生簡易水道統合整備事業」の地元説明と行政不信に見られる水道行政について</p> <p>3 高齢者に対する増税の弱者等に対する還元について</p> <p>4 平成17年度ごみ収集委託業者の「見積書」の不可解な保管と、特定業者の名誉にかかわる文書の作成・保管と外部流出について調査を求める</p> <p>5 病院事業の検討課題について</p>	加賀 博昭
6	<p>◎ 市政の重点課題について</p> <p>(1) 高齢者福祉の実現について</p> <p>① 高齢化先進地として、国政レベル（ナショナル・ミニマム）に止まらない佐渡市オリジナル（シビル・ミニマム）が必要と考える。実態から鑑みて、どのようなオリジナルが求められていると思うか</p> <p>② 介護保険に止まらない社会的介護の拡充が必要である。介護の更なる社会化を促進する方策について所信を問う</p> <p>(2) 活性化策について</p> <p>・ 人々の頻繁な往来と集いのにぎわいが活性化の意と考える</p> <p>ア) 島内外の交通網、体系の再整備、構築について、①路線バス ②小木・赤泊航路 ③空路 の問題点と抜本策について。殊に、国道バイパスと金畑線拡幅の見通しについて問う</p>	田 中 文 夫

順	質 問 事 項	質 問 者
6	ｲ) 鼓童ECを模範とした場合、他のイベントの諸問題は何か。差別化と集中が肝要と考えるが、新機軸の企画があるか り) U・Iターンや故郷回帰・願望を体系的にとらえる視点が必要ではないか。例えば、新「出稼ぎ策」「中高年ベッドタウン構想」など	田 中 文 夫
7	1 予防医療について ○ 間もなく団塊の世代が定年を迎え、社会保険から国保に移行することになる。国保会計が増大し保険税も増額が予測される。病気の早期発見、早期治療が重要と考える ① 各種集団検診の受診率が低下している。原因をどのように分析しているのか。今後、向上させる対策、また目標をどのように考えているのか。60歳以下の対象者の受診率はどのくらいか問う ② 保健師の体制について 検診の受診率の向上や健康維持のためには、個人指導が重要になってくると考える。保健師の旧町村1人体制ではカバーしきれないのではないか。市長の考えを問う 2 高齢者の安否確認について ○ 一人暮らしの高齢者が、死後数日間発見されなかった例を数件耳にしている。安心して老後を過せるために、安否の確認や緊急通報の整備を進めていく必要がある。市長の考えを問う 3 Uターン・Iターンについて ○ 全国的に団塊の世代の定年後の受入れ体制が進んでいる。佐渡は遅々として進んでいないように思える。今後の佐渡市の対応を問う	若 林 直 樹
8	1 佐渡における流通形態と目的税の問題点 (1) 佐渡汽船の経営危機に関心が偏り、今、最も議論が必要な流通形態の在り方が置き去りにされている。今こそ航路全般、佐渡汽船以外の貨物航路、広範囲な国内貨客航路、海外航路などの開拓、空港と港湾の整備に性根を据えた議論と対策が必要と考える。市長の基本姿勢を尋ねる (2) 航路経費が本土との物価格差を生んでいる。特に、石油製品の価格差の調査、島内の軽油消費量と軽油引取税額について (3) 目的税のうち自動車取得税の佐渡市への配分額は2億7千万円で市道の建設維持のための交付金、軽油引取税は県道の新設維持などとされているが、佐渡地域振興局への配分額は (4) 佐渡汽船の再建計画で40社にも及ぶ関連会社の扱いが、佐渡にとって焦点になると見るが、県・佐渡汽船との協議内容について問う 2 佐渡クリーンセンターの談合疑惑と対処 ○ 新聞報道によると9月28日、新潟地裁「豊栄ごみ焼却炉訴訟」の判決文の中で、「1999年公正取引委員会が工事で談合があったとして排除勧告から7年。談合に対する行政の毅然とした態度が求められている」と厳しく指摘。『「本来は行政が業者に対し損害賠償を求めるべきだ。行政は何もせず、住民任せだった』と怒りをあらわにした」との記事の中で、公正取引委員会から談合と指摘された平成6年度から10年度の間ストーカ炉建設工事の中に「佐渡クリーンセンター」も含まれていると指摘されている。	祝 優 雄

順	質 問 事 項	質 問 者
8	<p>佐渡市として談合による損害を回復する手立てを考えているのか</p> <p>3 職員の勤務評定と勤勉手当の支給について</p> <p>○ 勤勉手当の支給根拠と原資限度額のとらえ方について問う</p> <p>4 国民保護法と保護計画について</p> <p>(1) 佐渡市の国民保護計画の準備状況と、基本的にどのような状況を想定して準備しているのか</p> <p>(2) 周辺事態との関係など踏み込んだ議論をしたい</p>	祝 優 雄
9	<p>1 佐渡市の行政の責務である住民への安全・安心の確保について</p> <p>○ 佐渡市民、日本国民として当然果たすべき役割、安全保障、国防への責務について問う</p> <p>2 専門学校設置の現在の状況について</p> <p>○ 昨年の大桃一般質問に答える形で大手専門学校グループによる専門学校の設置が検討されているとのことであったが、その後どのような状況になっているのか。また、設置の方向で進んでいるなら、どのような専門課程を有する学校で、予定入学者数、学校の規模はどのようなものになるのか。加えて、設置により佐渡にとって、どのような期待・効果が持てるのかを問う</p> <p>3 就業支援について</p> <p>○ 佐渡における就職率の低迷は深刻である。今後、佐渡市としては、どのような対策を考えているのか。若年層の佐渡ヶ島離れは深刻であるとともに、新規入島者にとって就業・就職問題は、住む場所の確保とともに問題の一つでもある。行政としての支援の在り方について問う。佐渡経済の状況や産業構造の把握も含め、どのような支援が必要なのかを問う</p> <p>4 行政内組織の連携と佐渡市、行政外組織の在り方について</p> <p>○ 今年度から、部制がスタートしたが、部署、部局をまたぐような案件執行の際、問題点を感じていないか。また、佐渡市は誕生して間もない自治体であるが、歴史ある自治体では行政内で行えない事業については、行政外団体と連携して行っている。公務員の天下り先や特定の事案の隠れみのような存在であってはならないが、今後、佐渡市の発展を考える上で、例えば、体育、文化関係の団体の設置が必要と考えるが、その考えを問う</p> <p>5 佐渡市の特定企業への助成の在り方について</p> <p>○ 佐渡に関係し問題となっている案件に対して佐渡市が助成をすることは、佐渡経済のためにも佐渡市民のためにも当然の責務と考えるが、その反面、地元企業への支援の在り方や均衡性を十分に検討する必要がある。考えを問う</p> <p>6 世界文化遺産登録への取組みとまちづくりについて</p> <p>○ 世界文化遺産登録に向けて、佐渡市として今後どのように取り組む必要があるのか。また、住民や民間事業者との連携や理解は、必要不可欠である。どのように周知し登録へ向けて進むのか。その歴史的な街並み整備や商店街整備も従来のようなとりあえず造ってしまえとか、やってしまえのような政策ではなく、目的、ターゲット、管理者、戦略等をまず議論し決定すべきである。その手法を問う</p>	大 桃 一 浩

順	質 問 事 項	質 問 者
10	<p>1 債務超過の佐渡汽船の具体的改善策について問う</p> <p>(1) 佐渡汽船改革への市の関与はどこまで可能か</p> <p>(2) 航路のコスト削減策とは</p> <p>(3) 運航汽船の売却と新造方針とは</p> <p>(4) 航路変更等、その他の改善策はあるのか</p> <p>2 佐渡市の産業再生、活性化策について</p> <p>○ 「張り子」の佐渡市になるな、明日の飯をどうやって稼ぐ</p> <p>① 佐渡はトキと金山だけで良いのか</p> <p>② 新年度の産業振興策プライオリティNo.1、2、3の業種とその理由は</p> <p>ア) 第一次産業の重点施策は何か</p> <p>イ) 第二次・三次（その他）産業の重点施策は何か</p> <p>③ 佐渡ブランドの育成計画は進んでいるか（品目とその振興策は） JAとの協力・連携は十分か否か、農業公社の運営見直し等は</p> <p>④ 企業誘致活動の成果と今後の計画は</p> <p>⑤ 経済活性化への可能性が大きい畜産振興策をなぜ進めない</p> <p>ア) 進行しない理由は何か</p> <p>イ) 牧場整備計画は進んでいるか</p> <p>ウ) JAの和牛肥育センター、乳牛センターの利用を進行せよ</p> <p>エ) 改良組合統一、自家保有支援の充実、「オーナー制度」の導入が必要だ</p>	村川 四郎
11	<p>◎ 投票所の統合について</p> <p>(1) 統合（見直し）の基準と地理的条件等をどのようにとらえたのか</p> <p>(2) 統合の対象となった投票所の直近選挙の平均投票率と今後行われる選挙（参院・県議選）の予想平均投票率をどう見ているか</p> <p>(3) 統合は今後の行政運営に影響はないか。それによる市民の不信を招いたり信頼を損ねたり、特に福祉・教育行政の運営に支障はないか</p> <p>(4) 公職選挙法によれば投票区の告示は選挙期日の5日前となっているが、複雑な選挙事務等は事前に住民への周知が必要と思うが、統合の住民への周知の方法についてどのように考えているか</p> <p>(5) 合併協議では投票所についてどのような意見集約があったか</p>	池田 寅一
12	<p>1 地域別整備計画について</p> <p>○ 合併協議会での地域別整備の方針はどうなっているのか</p> <p>2 学校統合問題といじめについて</p> <p>(1) 統合後の空き校舎をどうするのか</p> <p>(2) 特色のある学校は残すべきと思うがどうか</p> <p>(3) 統合後、いじめが助長される心配はないのか</p> <p>(4) カウンセラーの資格を持っている教師はいるか</p> <p>3 佐渡市のマリンタウン計画について</p>	佐藤 孝

順	質 問 事 項	質 問 者
12	(1) 港湾施設の整備促進を図り、観光の拠点作りを進めるべきでないか（係留施設等） (2) 対岸のマリーナへPRパンフを作成し配布してはどうか 4 クリーンセンターの将来計画と三香苑の改築について ○ 住民サービスの観点から統合・存続をどのように考えているか 5 羽茂大石地区の公有地造成事業の利用計画について ○ 計画図面はあるが、整備する考えはあるのか	佐藤 孝
13	1 財政の見通しについて (1) 合併特例終了後の起債償還額と建設計画について (2) 国営かんばい負担金と建設計画について 2 行政改革について (1) 保育園の民営化について (2) 指定管理者制度で運営している施設について ① 入浴施設について ② スポーツ施設について ③ 宿泊施設について (3) 水道事業について ① 料金の統一について ② 地域間の管路の接続について 3 職員の綱紀粛正について 4 産業振興について (1) 地域興しと観光について (2) 地産地消の取組みについて	金光英晴
14	1 佐渡島の海岸線の延長について ○ 佐渡市約280km、相川郷土史辞典227kmと53kmの差がある。計測の根拠を示して統一すべきである 2 市町村合併の記録が平成 17 年 1 月に発刊されたが、事務記録に過ぎない。合併前の市町村の情勢、関係者のコメント等を含めた市町村合併誌を編さんすべきであると考えているが、市長の考え方を問う 3 学校の新築・統合等によって貴重な資料が散逸するおそれがある。早急に調査し、リストを作って保存する必要があると考える 4 支所は、市民との最も重要な接点であるが、十分機能していない面が見受けられる。支所長の権限もあいまいであり、改善をすべきであると考えている 5 来年度は、品目横断的経営安定対策及び自主減反が実施されることで、戦後最大の農政変革の年となる。農家に周知させ協力を得るためにどのように対応するのか。また、市の支援策について問う 6 バイオマスタウン構想の具体策について問う 7 施政方針で、空港整備については「佐渡空港検討委員会」の答申を受けてとの説明があったが、その結果と方針を問う。また、東京事務所開設の成果と「一万人ふるさと回帰ツアー」の結果について問う 8 地域の活性化は「ものづくり」にあると考えるが、来年度の重点施策について問う	渡邊 庚二

順	質 問 事 項	質 問 者
15	<p>1 研修について</p> <p>○ 平成18年度、佐渡市で行われた研修会・講習会の担当課別ごとの件数は（各支所の場合は担当課ごとに）</p> <p>2 遊具について</p> <p>○ 現在、公園及び保育園で遊具が使用不能と綱が張られているが、使用不能となっている遊具のある箇所及び遊具名</p> <p>3 「いじめ」について</p> <p>○ 全国的に学校でいじめが問題視されている</p> <p>① 佐渡市における学校現場での有無は</p> <p>② あるとすれば校名は</p> <p>③ その対応策はどのようにしたか</p> <p>4 観光事業について</p> <p>(1) 18年度、「かない大祭」が中止になった経緯</p> <p>(2) 19年度からイベント事業をどのようなやり方で是正するのか</p> <p>(3) 佐渡観光協会中央支部の事務所予定地は</p> <p>(4) グループ化する観光ニーズに対応するには、佐渡観光もオプションルツアーが要求されると考えるが、現状と将来計画は</p>	廣瀬 擁
16	<p>1 農林水産行政について</p> <p>(1) 佐渡産材利用拡大に向けて</p> <p>① 佐渡産材利用住宅建築奨励事業の進捗状況</p> <p>② 課題は何か。工務店や大工にもメリットのある制度見直しの考えは</p> <p>③ 県林政課で提案集「越後の木づかいのススメ」を県民に配布する計画があると聞く。「木づかい研究会」を発足し、PRに努める考えは</p> <p>(2) 間伐材の活用に向けて</p> <p>① 廃校などの施設を活用した、大工が講師の「ものづくり講座」を開設の考えは</p> <p>② 木質バイオマスの利用状況と課題・対策を問う</p> <p>2 消防行政について</p> <p>(1) 救命手当講習の促進に向けて</p> <p>① 救急救命士の実態、対応件数を問う</p> <p>② “AED（自動体外式除細動器）”“心肺蘇生法”“止血法”講習の現況を問う</p> <p>(2) AED整備に向けて</p> <p>① AEDの価格と器数、整備箇所は</p> <p>② 整備目標計画を問う</p> <p>3 教育行政について</p> <p>(1) いじめ問題について</p> <p>① 島内の実態をどのように把握しているか</p> <p>② いじめの原因と対策は</p> <p>③ 行政側による記者会見は「悩んでいる生徒にふさわしくない」の声は届いているか</p> <p>④ 教育長の「いじめ」に対する見解を問う</p>	本間千佳子

順	質 問 事 項	質 問 者
16	<p>⑤ 県立高校付近の不審者対策は練られているか</p> <p>(2) 「一人の人間」として尊重される社会づくりに向けて</p> <p>① 小学生から男女共同参画社会の意識啓発にパンフレットを配布する考えは</p> <p>② 保護者にも「家庭生活での男女の協力と仕事の分担」を呼び掛けるパンフレット作成の考えは</p> <p>(3) 文化芸術振興に向けて</p> <p>① 子供もたちに本物の芸術に触れてもらう鑑賞運動の推進について</p> <p>② 観光のポイントになっている「能」の支援実態を問う</p>	本間千佳子
17	<p>1 弱者救済について</p> <p>(1) 4月に障害者自立支援法が施行され、福祉サービスの原則1割の自己負担や事業所の補助金削減などが始まり利用者の間に不安が広がっている。また、経済的負担増を理由に障害者福祉施設から退所者が増加している</p> <p>① 施設居宅サービス利用者の軽減策を講じられないか</p> <p>② 自立支援医療での負担を軽減できないか</p> <p>(2) 平成16年から段階的に削られてきた生活保護の老人加算がこの4月で0円になった。ぎりぎりの生活を余儀なくされ、悲痛な叫びが聞こえてくる。何か救済策はないか</p> <p>2 佐渡市の地域医療について</p> <p>○ 佐渡の基幹病院である佐渡総合病院の新築計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市立病院の運営状況について、医療計画ができしだい腹を割って話し合っ解決したいと言っていたが、その後の経過について</li> </ul> <p>3 学校教育について</p> <p>(1) 教育再生会議の中には、教育委員会の実態や制度そのものに痛烈な批判をしている人がいるが、その教育再生会議が教育委員会制度改革を打ち出してきている。その意図するところは何か</p> <p>(2) 義務教育の質の保証に資する学校評価システム構築事業が進められているが、外部評価、第三者評価がどのようにされるのか。教員が権威を低下させたり保護者にこびたりする事態を招かないか。校長の自主性は損なわれないかどうか</p> <p>4 生涯学習について</p> <p>(1) 生涯学習の補助金が一律カットされ、各地区の教室、学習サークルのリーダーから合併して何も良いことはないと言き聞こえてくるが、このような不景気の折、地域の活性化のために予算配分すべきと思うがどうか</p> <p>(2) 三つ子の魂百までの精神を生かし、想像力を養う親子読書の推進を</p> <p>5 学校統合計画について</p> <p>○ 子供たちの教育環境を良くするためとあるが、学校統合の線引き基準をどこに置くのか</p> <p>6 県道両津・真野・赤泊線の改良について</p> <p>○ あいびす就航で観光道路として、また、生活道路として整備改良が急がれると思うが、見通しについて</p>	金子健治



順	質 問 事 項	質 問 者
18	<p>1 平成19年度予算について</p> <p>(1) 財政に対する見通し、新市建設計画の実施の見通しについて質す</p> <p>(2) 著しい高齢化への対策、指定管理者制度の在り方、国仲給食センターへの考え方、学童保育への対応、フッ素洗口事業等について市の考えを問う</p> <p>2 入札について</p> <p>(1) 全国各地の自治体で不正入札問題が多発し、入札の在り方が大きな社会問題となっているが、市の入札の現状はどうか</p> <p>(2) 業者間の談合が、本来あるべき競争条件の機能を阻害しているといわれている。市は入札結果の現況をどのように認識しているか</p> <p>(3) 入札に公正な競争が機能するよう、今後どのような制度改善を考えているか</p> <p>3 妙見山頂の弾道ミサイル追尾レーダー設置問題について</p> <p>(1) その後の防衛庁との応接はどのようになっているか。経過を問う</p> <p>(2) 島民は配備を計画しているレーダーは、観光の島、トキの島、環境の島をうたう佐渡にはなじまない軍事施設であるとの不安を抱いている。このことに、どのように応えるか</p> <p>(3) 特に、観光を中心とする島内経済に大きなダメージを与えるとの関係者からの声が高いが、どのように考えているか</p> <p>4 本庁と支所の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の本庁と支所の在り方について、機構、人事の両面からの考えを問う</li> </ul> <p>5 選挙における投票所の在り方について</p> <p>(1) 合併を機に島内の選挙投票所を10か所削減する方向が提案されているが、削減される該当箇所はどこか</p> <p>(2) この投票所削減の方向は、高齢化の進んでいる地域の現状を無視するものであり再検討すべきであると考えるがどうか</p>	小杉 邦男
19	<p>1 集配郵便局の存続について</p> <p>○ 市民でつくる「佐渡の郵便局を守る会」は11月29日、日本郵政公社に対し集配郵便局存続を申し入れ、3,814人分の署名を提出した。さらに、存続を強く要求し、来年3月実施計画を止めさせるべきではないか</p> <p>2 小学校と保育園を半減する統廃合計画について</p> <p>○ 2017年度までに、小中学校と保育園をほぼ半減する統廃合計画を発表した。学校や保育園をどうするかは、効率化だけでは見られない。行政側が勝手に決め統廃合が先にありきではなく、地域住民・保護者の十分な議論・検討の上で考えるべきではないか</p> <p>3 障害者自立支援法の応益負担軽減について</p> <p>(1) 通所施設利用料、給食費、在宅サービス利用料の市独自の軽減が必要ではないか</p> <p>(2) 運営が困難な事業所への支援が必要ではないか</p> <p>(3) 精神障害者の小規模作業所が、地域活動支援センター事業等に移行し補助を受けるまで、昨年度の補助金水準を市の責任で維持すべきではないか</p> <p>(4) 知的障害者の保護者会、精神障害者家族会などからの具体的な要望に対する回答について</p>	中村 良夫

順	質 問 事 項	質 問 者
20	<p>1 行財政改革</p> <p>(1) 財政計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併特例債事業の終了する平成25年度までの財政見込み</li> </ul> <p>(2) 下水道事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収支のバランスを欠き今後も繰出金の増高が続くが、その対策</li> </ul> <p>(3) 病院運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民営化についての市長見解</li> </ul> <p>(4) 保育園の民営化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間からの参入希望が強い保育園から民営化に踏み切るべき</li> </ul> <p>(5) ごみ焼却施設について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 談合問題の事実関係と今後の対応及び施設の統合時期</li> <li>② 設備機器保守点検委託料は、入札か随契か</li> </ol> <p>(6) 海洋深層水施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の経営計画</li> </ul> <p>2 農業政策</p> <p>(1) 来年から実施の3割・5割減減栽培と品目横断的経営安定対策及び農地・水・環境保全向上対策の概要、進捗状況と今後の取組み</p> <p>(2) 額縁・中抜き減反は来年から認めるか</p> <p>3 水道事業</p> <p>(1) トリハロメタン含有量上位地区の原因と対策</p> <p>(2) 地方債残高が増額しているが、今後の経営方針</p>	近藤和義